

令和3年6月10日

地域の皆様へ

沖縄県立中部病院
院長 玉城 和光

外来診療・入院受け入れ制限期間の延長及び
診療制限へのご協力について

1. 制限期間の延長について

中部地区では、新型コロナウイルス感染症の急激な拡大の影響を受け、医療体制が逼迫した状況が続いています。当院では、令和3年6月2日～6月11日まで外来診療及び入院受け入れを一部制限して対応してきましたが、状況は変わらず非常に厳しい状態が続いています。

新型コロナウイルス感染症患者の治療を担う、重点医療機関の機能を維持するために、引き続き、外来診療及び入院受け入れ制限を令和3年6月20日まで延長いたします。制限解除については改めてご連絡を差し上げます。

2. 新型コロナウイルス感染症患者への対応について

現在、看護師確保の観点より、一般病床を165床閉鎖して対応しています。近隣の開業医や医療機関の皆様方には多大なるご支援とご協力いただき感謝申し上げます。

また、危篤な重症患者への対応、院内感染（クラスター）の発生などの要因により、医療従事者が十分に足りない状況が続いています。県外からも業務応援看護師（10名）を派遣していただき対応しております。

診療制限により地域の皆様には、ご不便やご迷惑をおかけしていますが、このような状況をご理解いただき、引き続きご協力いただきますよう、お願い申し上げます。また、自宅で療養中の患者、ご家族の皆様の対応に心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの終息を願い、一日も早く、通常診療が再開できるよう職員が一丸となって取り組んで参ります。

以上